

## 自動車業界での化学物質管理の現状

### 欧州ELV指令対応状況

トヨタ自動車(株)  
CSR・環境部  
浅田 聡

## 自動車業界の化学物質管理状況

### 生産

車両製造で使用する  
資材・副資材

- ・大気汚染防止法
- ・水質汚濁防止法
- ・PRTR法(354物質)



### 製品

製品・部品に  
含まれる物質

- ・欧州ELV-環境負荷物質規制
- ・自工会自主目標  
(4物質:鉛、水銀、カドミウム、  
六価クロム)



生産と製品各々が、関連法規に基づく化学物質管理推進

## 欧州ELV(廃車)指令について

### リサイクル可能率(認証要件:2005/64/EC)

- 2008年12月以降の新型車(リサイクル可能率:85%以上)  
サプライチェーンを通じて収集した部品構成材料情報を  
ベースとしてリサイクル可能率(ISO準拠)算出が必要

### 環境負荷物質規制(2008年12月より認証要件)

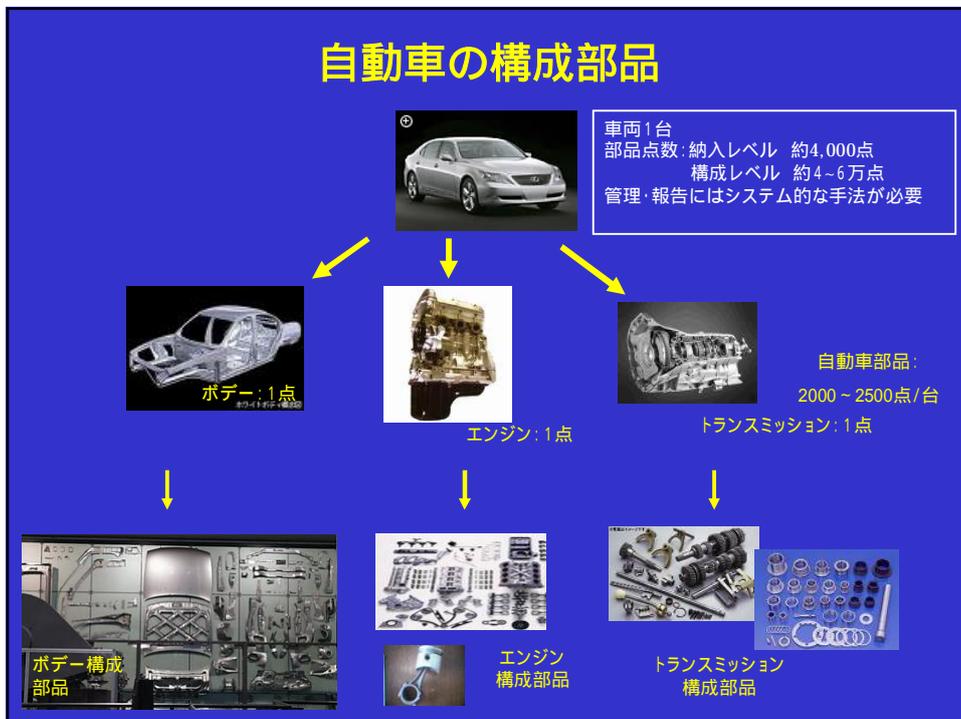
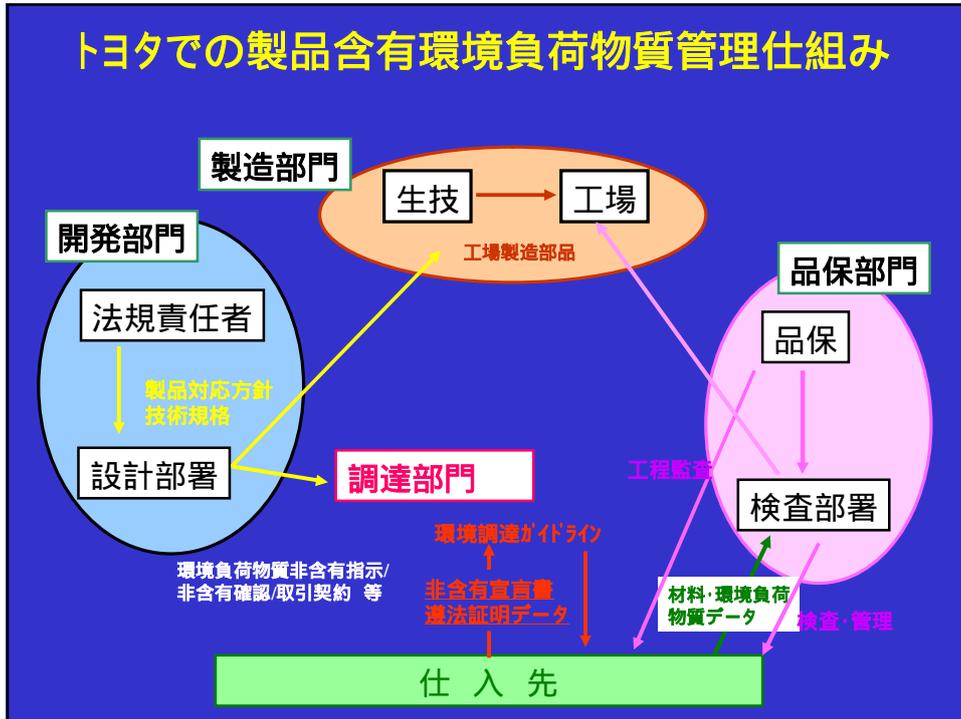
- 禁止:鉛, 水銀, カドミウム(2003年から原則禁止、  
個別部 品毎に除外を設定 例:バッテリー、はんだ 等)  
六価クロム(2007年7月以降全廃)
- 適用:2003年7月以降の市場投入車
- 対象:車両、補給品、用品

## 参考:欧州ELV指令環境負荷物質規制日程

規制除外規定 2005/673/EC

	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
鉛	燃料タンク 黒セラ等 ブレーキライニング	<b>禁止</b>	電球、プラグ等 電着塗料、リング等	対応完了 約8,000点	エアバック起爆剤	快削アルミ	
カドミウム		接点、他		ハイブリッドIC	<b>全廃</b>		
水銀							六価クロム含有 部品点数:20万点
六価クロム							<b>全廃</b>

規制除外規定については2年毎に見直し実施



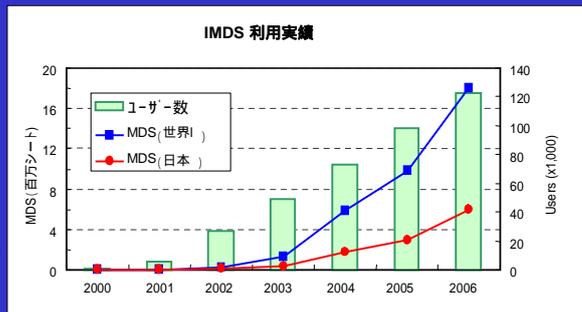
## IMDS(International Material Data System)概要

[IMDSとは]

- 1.経緯: 独自工会 (VDA)が中心となり、ELV指令対応を念頭に開発した、サプライチェーン環境情報伝達システム。EDS-独 がシステム開発・運営 (2000-)。
- 2.運営: 中核運営会社 (GM/Opel,Ford,DCX,VW,BMW,ボルシエ,ルノー,現代,トヨタ)で組織するIMDS スポンサー会議にて意思決定。
- 3.運営費: 4,200,000euro/年 (約6.5億円) 自動車会社が費用負担。
- 4.会員: 独、英、伊の全メーカー、ルノー  
GM, Ford, DCX (米国)  
殆どの日本メーカー  
現代/起亜 等 20社

5.使用実績(2007/1現在):

- ・登録仕入先: 54,131社
- ・登録ユーザー: 136,861名
- ・総データ数: 18,057,038シート  
(日本メーカーが約1/3使用)



## IMDSのしくみ (データ伝達の流れ)

サプライチェーンに沿った、IMDSによる部品構成材料データ伝達フロー

